資料 4

今後の調査について

ワーキンググループの今後の予定

環境省 情報の共有

H22年度

·現状認識

·課題抽出

H23年度

中間とりまとめ

- ・課題の抽出・整理
- ・第6期計画に向けた 各研究結果のまとめ

島根県

H24年度

H25年度

とりまとめ

- ・これまでのWG成 果のとりまとめ
- ·第6期計画の施策 反映への整理

H26年度

·第6期保全計画 の策定

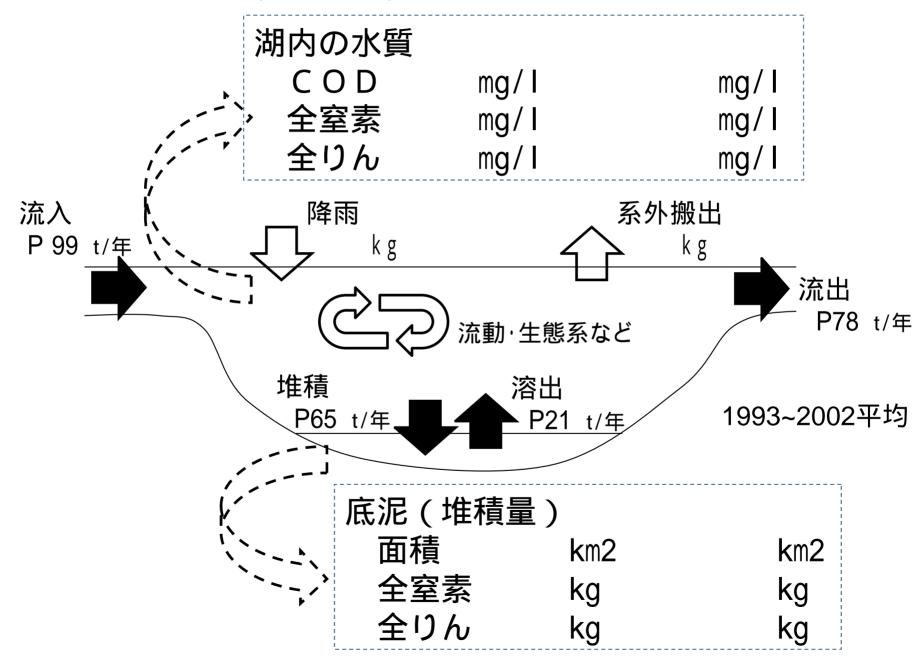
- ・汽水湖の現状、課題の整理
- ・調査事業の提言、助言
- ・調査結果の評価
- ・シミュレーションモデル構築へ向けたパラメータ等の整理

汽水湖汚濁メカニズム解明調査ワーキンググループ

ワーキンググループのH25年度までの目標

- 1.物質収支の解明
 - · 流入(原単位)負荷量把握の精度向上 (斐伊川連続調査 原単位を精査)
 - · 湖底と湖水の物質収支から出入り量の検証 (湖心高頻度調査 底質調査 等)
- 2. 施策効果検証のためのシミュレーションモデルの構築
 - · 塩分収支(流動)、水質の再現性向上。 (地形データの整理 塩分遡上に係る溶存酸素の挙動の把握)
- 3.第6期保全計画へ具体的施策を反映 (シミュレーションモデルによる施策評価等。)

「汽水湖の現状(収支等)の整理」のイメージ



これまでのWGの主な意見

主な意見等	対応方針(案)
負荷量について ・流入負荷量の正確な把握が重要。 ・底質の現状、影響等の把握が重要。 ・測定結果による収支全般の把握が重要。	物質収支(りん)の解明 原単位の精査により流入負荷量把握の 精度を向上させる。 底質の現状等を調査する。
塩分成層について ・塩分成層による酸素の挙動、それに伴う 栄養塩の溶出についての把握が重要。	塩分成層の把握 大橋川からの塩分遡上の状況や溶存 酸素の挙動について、連続調査する。
難分解性有機物について ・溶存態CODが約7割を占めている。 ・難分解性有機物の把握が重要。	難分解性有機物の把握 難分解性有機物の存在状況を調査する。 植物プランクトンと溶存態CODとの関係 を解析する。
シミュレーションモデルについて ・長期的傾向の把握が重要。 ・流動(塩分流入)の再現性向上が重要。 ・易分解、難分解の区分が重要。	検証版のモデルを構築 施策の効果検証が簡易に行えるモデル を構築する。

島根県の調査研究(案)について(その1)

	H22	H23	H24	H25	H26
汽水湖における汚濁解明調査事業					
流入河川連続調査 ・ 斐伊川(神立橋)において365日調査 ・ CODや全窒素、全りん等について分析	•	-			
湖心高頻度調査 ・ 宍道湖湖心において、週1回の頻度で調査 ・ 水深1m毎に採水、水質、PP を測定 ・ STDを用いて水深10cm毎の水温、塩分等を測定	+	-			
原単位に係る調査 ・ 小規模事業場の排出水調査		—			
シミュレーションモデルの構築 ・ 検証版のモデルの構築について検討 ・ 地形データの精査など空間分割の検討、1999年 データを用いた塩分再現向上の検討(H23) ・ 1999~2011年の塩分再現向上の検討(H24) ・ H22.7.1~H23.6.30の水質再現向上の検討、長期		*	4····)	4····	
底疊調查(栗)現(H25)		♦ ·····	•••••		

島根県の調査研究(案)について(その2)

	H2	H2	H2	H2	H2
湖内生物(プランクトン)調査 ・ 植物プランクトンの出現状況等を調査	2	3	4	5	6
湖内プランクトンの存在比調査 ・ 光合成色素を分析し、植物プランクトンの出現量・存 在比を調査	-	-			
シネコキスティスの遺伝子解析 ・ 不飽和脂肪酸の有無について調査 ・ シネコキスティスの遺伝子解析を行い宍道湖で発生 している種を決定	•	-			
植物プランクトン種による溶存態CODへの影響調査 ・ 珪藻、藍藻等を培養し、溶存態CODとの関係を解析		*			
難分解性有機物の調査 ・難分解性有機物濃度について調査		-	-		
塩分遡上に係る溶存酸素の挙動把握調査 ・ 大橋川からの塩分遡上の状況や溶存酸素の挙動に ついて、連続調査を実施		—	-		

環境省の調査研究(平成22年度以降の予定)

	H22	H23	H24	H25
室素リン比変動による水生態系の影響等調査(H21~23) ・窒素リンと植物プランクトンの調査(H21宍道湖を含む4湖 沼で調査済み) ・窒素リン比変動による水生態系の影響検討(H22~23)	-	-		
底層DO等を用いた水質環境評価事業(H22~23) ・下層DO、透明度調査(宍道湖を含む4湖沼、1海域で調査実施	-			
湖沼水質保全施策枠組み再構築事業(H22~24) ・全国指定湖沼の水質状況・施策実施状況の整理(H22) ・今後の湖沼水質保全の在り方の検討(H23)	—			
湖沼の環境情報の整理手法の検討(H22) ・モデルケース:宍道湖	\longleftrightarrow			
湖岸·沿岸帯の自然浄化機能の検討(H23~25) ・自然浄化活用事業(宍道湖を含む4湖沼で実施、追加調査)		•		
汽水湖に関する検討(H23~25) ・全国の汽水湖の現状と課題整理(H23)		•		—
面源からの汚濁負荷検討(H23~25) ・原単位算定マニュアルの策定(H23~24)	•			